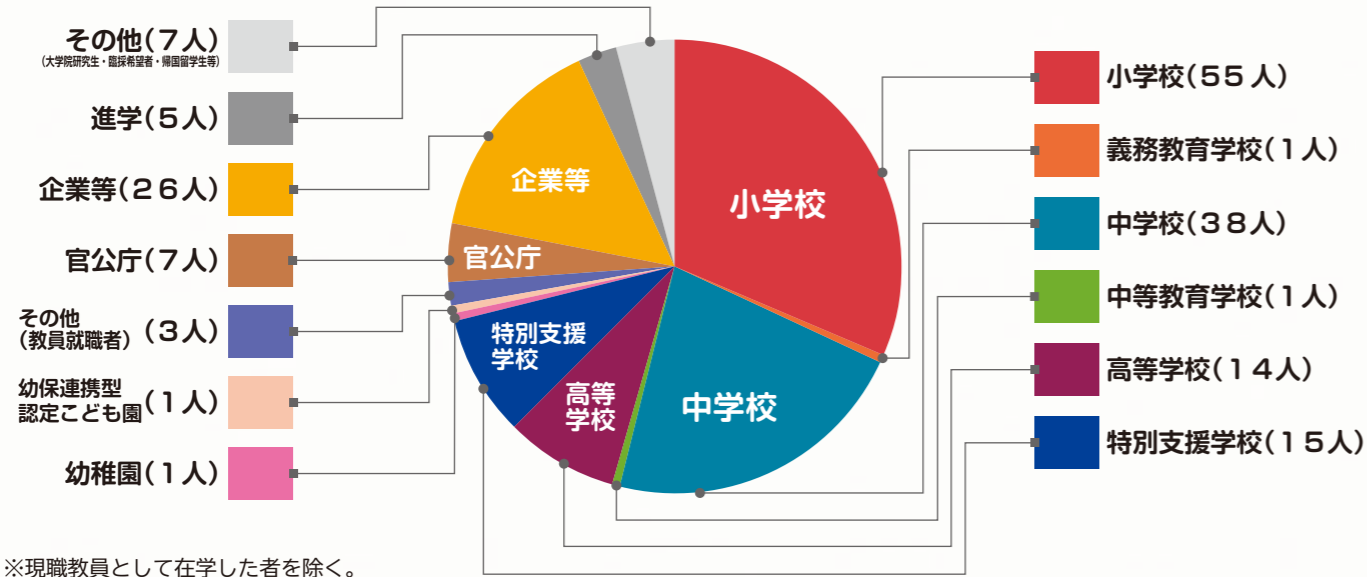


修了後の就職や進路

■平成29年3月修了者の就職状況（174人）

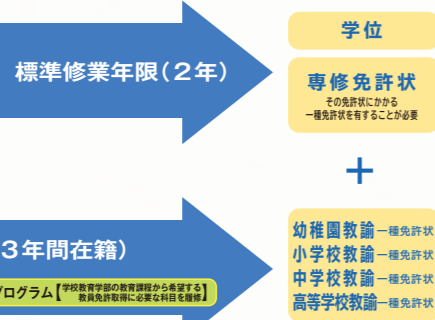


教育職員免許取得プログラム

このプログラムは、長期履修学生制度に基づき3年間で大学院修士課程又は専門職学位課程（教職大学院）の教育課程と学部教育課程を併せて履修することにより、教職に関する高度な専門知識を修得するとともに、得意分野を持った小学校教員や中学校教員等の養成を目指すものです。

学部の教員養成カリキュラムを履修し、単位を修得することにより、教育職員免許取得の所要資格を得ることができます。本プログラムを申請した方（※）で、大学院の入学試験に合格し、併せて本プログラムの受講を許可された方が受講することができます。

（※）一部のコースにおいては、本プログラムを申請することができません。詳しくは本学ホームページ（<http://www.juen.ac.jp/>）でお知らせします。



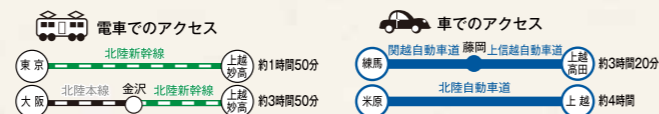
授業料（年額）
本学が定めた授業料年額 × 標準修業年限（2年） ÷ 長期履修期間（3年）
※通常の学生2年分の授業料を3年間で分割納付することになります。
535,800円 × 2年 ÷ 3年 = 357,200円（年額）

交通アクセス

・北陸新幹線上越妙高駅からタクシー乗車（約20分）



北陸新幹線の開通により、首都圏を含む各地からのアクセスが向上！
●東京⇄上越妙高：約1時間50分
●金沢⇄上越妙高：約1時間



国立大学法人 上越教育大学

大学院 学校教育研究科

専門職学位課程
（教職大学院）

修士課程

平成31年度改組のお知らせ



お問い合わせ先：企画広報室
TEL：025-521-3626
E-mail：nyushik@juen.ac.jp



上越教育大学 HP ↑
<http://www.juen.ac.jp/>

上越教育大学大学院学校教育研究科 平成31年度改組について



上越教育大学
学長 川崎 直哉

国立大学法人上越教育大学は、平成31年(2019年)4月から大学院専門職学位課程(教職大学院)及び修士課程の新たな教育研究組織を計画しています。計画では、学校現場における諸活動を重視した実習と理論的探究により修得される高度な教育実践力を養成するとともに、複雑かつ多岐にわたる現代的教育課題に対応できる高度専門職業人を養成するため、専門職学位課程(教職大学院)と修士課程の機能の見直しを図り、教育実践力を基盤とし、両課程の専門的な特性を活かした教育組織への改組を予定しています。



【現行】

専門職学位課程 (60人)	教育臨床高度化専攻 (60人)	教育臨床コース
		教育経営コース
学校教育専攻 (116人)	学校教育専攻 (116人)	グローバル・ICT・学習研究コース
		道徳・生徒指導コース
		教育連携コース
		臨床心理学コース
		幼年教育コース
		特別支援教育コース
		特別支援教育コース
		特別支援教育コース
		特別支援教育コース
		特別支援教育コース
修士課程 (240人)	教科領域教育専攻 (124人)	言語系教育実践コース「国語」
		言語系教育実践コース「英語」
		社会系教育実践コース
		自然系教育実践コース「数学」
		自然系教育実践コース「理科」
		芸術系教育実践コース「音楽」
		芸術系教育実践コース「美術」
		生活・健康系教育実践コース「保健体育」
		生活・健康系教育実践コース「技術」
		生活・健康系教育実践コース「家庭」
生活・健康系教育実践コース「学校ヘルスケア」		



研究できる分野や、内容は維持されているんだね。

進学を希望するいろんな立場の人や、現代的な課題に対応する新設コースもあるよ!



上教大の大学院には、同学年の免P生だけでも100人規模の仲間がいるよ。一緒にがんばろう!



【平成31年度～】

専門職学位課程 教育実践高度化専攻 (170人)	教科教育・学級経営実践コース	教科教育実践 ※1年制(カリキュラム・マネジメント)プログラムを含む	学級経営実践 ※1年制(カリキュラム・マネジメント)プログラムを含む	
	先端教科・領域開発研究コース	小学校英語プログラミング教育 教科横断・教科実践開発 学習支援		
	学習臨床・授業研究コース	グローバル・総合ICT・情報学習臨床		
	現代教育課題研究コース	発達と教育連携 ※1年制(教育経営)プログラムを含む	道徳・生徒指導	
修士課程 学校教育専攻 (130人)	発達支援教育コース	幼年教育	特別支援教育	
	心理臨床コース	学校ヘルスケア	臨床心理	
	学校教育深化コース	文理深化・国語	文理深化・英語	文理深化・社会
		文理深化・数学	文理深化・理科	文理深化・技術
		文理深化・家庭	芸術深化・音楽	芸術深化・美術
		芸術深化・保健体育		
	国際理解・日本語教育コース	国際理解・日本語教育		
	教職キャリア支援コース	教職キャリアアップ		

数ヶ月間連携協力校等に入り教科指導力と学級経営力を鍛えます。学校現場で生じている課題に対応し、これまでに蓄積されてきた教育の臨床研究と理論的な考察を学校教育の現場の中で活かしながら「即応力」「臨床力」「協働力」の3つのコンセプトに迫る教員養成のためのコースです。

次世代の教育の在り方を追究します。「小学校英語」「プログラミング教育」「教科横断・教科実践開発」「学習支援」4つの先端的領域を中核とし、「縦断」に降りかち大学の在り方を見直し、4領域「横断」の連携も視野に考えられます。新しい教科の在り方を探究し、課題を組み合わせ、新しい学びを創造するなど課題を解決できる教員を養成します。

新しい教育方法、教育課程、学習過程を総合的にマネジメントする資質・能力を修得します。アクティブ・ラーニングやICT、児童生徒の学びの質を高める学習デザイン、総合学習、SDGs、国際理解に関する専門的理論知と実践知、カリキュラム・マネジメントのできる資質・能力、学習臨床的な研究能力を有する教員養成を目的としています。

子どもの自律と協働、そして創造を目指す学級づくり。規範的意識や道徳的実践力の育成。不登校やいじめ問題の予防・対応、子どもたちと作る実践的な学級経営のあり方など今日の課題について追究しています。学校や教室内の良好な人間関係づくり、学級集団づくりや児童生徒の社会性の育成、キャリア教育などを、社会全体の動向を踏まえながら検討します。

インクルーシブ教育システム実現のために障害のある幼児児童生徒の教育的ニーズに応じた適切な指導を行うことができる教員養成を目標とし、特別支援教育が直面するあらゆる問題や課題に教員として対応するための高い専門性を修得します。

教育現場に強い臨床実践の専門家に。公認心理師の受験資格取得に対応したカリキュラムを開講すべく準備を進めています。また、日本臨床心理士資格認定協会の第一種指定校として、修了と同時に臨床心理士の受験資格を得ることができます。

英語授業の理想を形に! 英語教育に関する指導法、教科専門性と実践的技術をあわせもち、一人ひとりの学習に対応できる態度あふれる実践力を養成します。英語教育、小学校英語教育、英語学、異文化コミュニケーション分野があります。

テクノロジー教育を深く学び、イノベーション創造。材料と加工、生物育成、エネルギー変換、情報の各技術に関する深い知識と広い視野を持ち、技術教育の発展に先進的な役割を果たす人材を育成します。

音楽教育の未来に向け、自身の音楽を深く探究します。音楽科の教材と指導法の開発だけでなく、ピアノ、管楽器、声楽の表現法を高めることができます。それに加え、合唱・合奏や音楽鑑賞、作曲や楽曲分析、日本やアジアの音楽を扱う授業を通して、専門性をさらに深めることができます。

からだ、運動、文化、人間、自然との関わりが深い、総合的な性格を持つ教科です。体育、保健体育、健康について実践的立場から深い洞察力や鋭い分析、研究能力を培うことを目指しています。

在職したままで学位を取得できる夜間開講コースです。現職教員や教員免許を所有する社会人等のみなさんが、自らの資質と教育研究力を高めるために在職のまま大学院に所属し、夜間、休日、長期休暇期間などの勤務時間外の時間を活用して、大学院で学ぶ機会を提供します。

コースや領域ごとに興味深いテーマがあるんだね。



教師と子ども・地域社会との連携など、連携という視点に立って、教育学や心理学の立場から、教育の在り方について専門的に追究します。また、教育と子どもの発達を相関できる広い学識と深い理解に基づき、多様な連携をデザインし、コーディネートできる高度な実践的力を備えた教育者の育成と、教育経営プロフェッショナル育成プログラムによる専門職や管理職の育成を目的とします。

好奇心に満ちた幼年期の子どもの世界を探究します。幼年教育をめぐる基本的内容や研究手法を確実に学び、実践現場と接点を持ちながら、独自の視点から研究を行い、内外の関係者と成果を共有することをめざします。

児童生徒の健康に寄与する理論や方法を追究します。学校健康教育学、医学、看護学、栄養学、食や健康に関する学問的基盤に立脚し、学校等におけるヘルスケア(健康・安全教育、食育など)を担う人材(教諭、養護教諭、栄養教諭など)を養成します。

ことばの学びは教育の基礎! 国語の中核的教員を育成。言語の本質と機能、言語表現、言語芸術を対象として、国語学(日本語学・近代文学・古典文学・書写書道・国語科教育学を中心に研究・教育を行います。

「数学教育学」、「代数学」、「幾何学」、「解析学」の4つの分野から構成されています。算数・数学の基盤にある数学的な知識と数学的な思考力を深めるとともに、算数・数学教育の発展に指導的役割を果たすために必要な理論的・実践的な素養を高めます。

観察・実験や自然体験を通して、自然科学的な広い視野と深い素養を持ち、理科の教育の発展に指導的役割を果たす人材を育成します。「物理学」、「化学」、「生物学」、「地学」、「理科教育学」の5つの分野から構成されています。

人の暮らしと暮らしを考え、創造し、科学する。人の暮らしの充実・向上を図る実践的能力を養い、主体的な生活を創造し、営むことのできる人材の養成を目標として、家庭科教育学、生活経営学、食物学、被服学、児童学、住居学等の科目を設けています。

子どもたちが造形活動を通して、自ら学び考え行動する力を育むことのできる教育の実現を目指し、小中学校教師をはじめ美術の様々な分野の指導者の育成を行います。大学院生は自主的に制作展を開催するとともに、全国規模の公募展等に出品しています。

注) 本計画は現在文部科学省と協議中です。なお、今後協議を進めていく段階で、コース名称等を変更することもあり得ます。